

# 第 10 章 文化財

## 第 1 節 文化財保護体制の充実

### 1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。令和3年度は県内15地区127件の文化財を巡視した。

### 2 文化財保護指導者研修会

#### (1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

#### (2) 期日及び場所

令和3年10月21日(木)～22日(金)  
富岡町文化交流センター学びの森  
とみおかアーカイブ・ミュージアム

#### (3) 内容

ア 講義内容及び講師

- (ア) 「文化財保存活用地域計画のあり方」  
響田克史(福島県教育庁文化財課)
- (イ) 「大字誌編纂の取組みと意義」  
西村慎太郎(人間文化研究機構国文学研究資料館)
- (ウ) 「歴史PTと『震災遺産保全等に関する条例』の経緯」  
門馬 健(富岡町教育委員会)
- (エ) 「地域再発見と『保存活用』  
ーとみおかアーカイブ・ミュージアムが目指すものー」  
三瓶秀文(富岡町教育委員会)

イ 現地研修

とみおかアーカイブ・ミュージアム(富岡町)見学

### 3 市町村文化財保護担当者会議

#### (1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえでの必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的とする。

#### (2) 期日及び場所

5月25日(火) 県庁正庁(福島市)  
6月4日(金) 原町生涯学習センター(南相馬市) ※  
6月10日(木) 会津若松合同庁舎(会津若松市) ※  
※新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。

#### (3) 内容

- ア 文化行政の動向
- イ 令和3年度事業について
- ウ 指定文化財の対応について

## 第 2 節 埋蔵文化財の保護の充実

### 1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、県教育委員会は、埋蔵文化財(遺跡)の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。令和3年度は、専門職員の任期付職員1名を採用し、東日本大震災からの復旧・復興事業の埋蔵文化財調査のため、文化財課の体制を強化した。

また、県の委託により発掘調査を行っている公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員21名、財団間出向職員4名、計25名で調査にあたった。

#### 公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
人員	26	26	30	40	44	47	47	55	60	60	62	62	62	62
年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人員	62	62	68	68	76	61	39	40	40	40	41	41	38	32
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3		
人員	26	26	35	40	39	37	32	30	32	26	22	25		

(平成14年度までは遺跡調査課定数)

### 2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」・「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

#### (1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

令和3年度は、小名浜道路 3,900 m<sup>2</sup>、只見川河川整備 28,500 m<sup>2</sup>、丸森いわき幹線(広域連系線) 1,165 m<sup>2</sup>、国道288号 850 m<sup>2</sup>、計 34,415 m<sup>2</sup>の試掘・確認調査を実施した。

なお、復興事業に係る埋蔵文化財調査については別記した。

#### (2) 保存協議

昨年度からの継続協議を含め、関係機関と保存協議を実施した。

関係機関：国土交通省、県土木部、東北電力等。

#### (3) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査(記録保存目的)

の本発掘調査)を公益財団法人福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡について実施した。

- ・会津縦貫南道路：栗林遺跡・中妻新田遺跡（下郷町）3,152㎡
- ・国道114号（山木屋1工区）改良工事：前田遺跡（川俣町）250㎡
- ・主要地方道小野富岡線（高津戸工区）整備事業：日南郷遺跡・高津戸館跡（富岡町）3,400㎡
- ・一般県道落合線整備事業：丈六横穴墓群・丈六古墳群（浪江町）1,000㎡

この他、令和2年度に不時発見に伴う下記の緊急発掘調査について、県直営により報告書作成を実施し、適切な記録保存を行った。

- ・梅川筋改修事業：大毛内B遺跡（相馬市）

なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村文化財保護担当部局が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時指導・助言している。

### 3 令和3年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

東日本大震災及び原子力災害に係る復旧・復興事業計画区域内において、埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないよう対応した。

さらに、被災市町村に対して埋蔵文化財調査に係る技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈令和3年度〉復興調査体制  
（南相馬市駐在）

課長 — 副課長 — 県専門職員  
（5名）

調査対応した開発事業は以下のとおりである。

#### (1) 分布調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、中間貯蔵施設等  
541,469㎡

#### (2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、中間貯蔵施設等  
249,288㎡

#### (3) 復興・再生事業等に係る市町村技術協力

- ・双葉町、大熊町、楡葉町、広野町への技術協力
- ・第20回 東日本大震災の復旧・復興に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する連絡会 11月30日開催
- ・各市町村訪問

## 4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

### (1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

公益財団法人福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、238名が受講した。

### (2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

令和3年度に受講した者は以下のとおり。

研修名称	期 日	受 講 者
建築遺構調査課程	6月21日～ 6月25日	南相馬市教育委員会 文化財課 1名

## 5 埋蔵文化財保護普及活動

令和3年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 28
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 8
- ・令和3年度中間貯蔵土壌貯蔵施設等工事予定地における埋蔵文化財調査業務報告書
- ・只見川流域築堤工事遺跡発掘調査報告 1
- ・一般国道289号関連遺跡発掘調査報告 1
- ・一般国道349号関連遺跡発掘調査報告 2
- ・中間貯蔵施設事業遺跡発掘調査報告 1
- ・中間貯蔵施設事業遺跡発掘調査報告 2
- ・県道広野小高線関連遺跡発掘調査報告 3
- ・梅川筋改修事業遺跡発掘調査報告 1

## 6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

この事業は、県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの要請により県教育委員会が埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援する事業である。

調査等に必要な技術の協力・支援を行う職員は、県教育委員会の依頼により公益財団法人福島県文化振興財団が選任した財団職員で、分布調査、試掘・確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を行う。

令和3年度の技術協力の実績は、下記のとおり。

市町村	遺 跡 名	協力内容
下郷町	左走遺跡	試掘・確認調査
広野町	関ノ上II遺跡	試掘・確認調査
湯川村	堂後遺跡	試掘・確認調査
大熊町	西平B遺跡及び西平地内A～C地点	試掘・確認調査
	井戸神沢製鉄遺跡	発掘調査指導
矢吹町	花咲地区	分布調査

## 7 開発事業に伴う試掘・確認・発掘調査件数

### (1) 令和3年度 試掘・確認調査件数

(令和3年4月～令和4年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	3	1		7	1	3	4	19
2	河川								0
3	ダム								0
4	住宅		11				4	1	16
5	個人住宅	11	94	2	4		7	3	121
6	店舗	1	2				1		4
7	その他建物	5	18		3		4	4	34
8	宅地造成	7	6	5				1	19
9	土地区画整理		1						1
10	公園造成		1						1
11	電気・ガス・水道等		1				4		5
12	農業基盤整備事業（農道等を含む）	1							1
13	その他の農業関係事業			1					1
14	土砂採取								0
15	その他開発	14	21				13	1	49
合 計		42	156	8	14	1	36	14	271

### (2) 令和3年度 発掘調査件数

(令和3年4月～令和4年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	2	1			1	1	2	7
2	河川				1				1
3	学校建設	1							1
4	住宅								
5	個人住宅		1					1	2
6	その他建物		2		1			2	5
7	宅地造成	1	1		2				4
8	土地区画整理								
9	農業基盤整備事業（農道等を含む）		1		3		1		5
10	その他の農業関係事業						2		2
11	土砂採取				1				1
12	その他開発						4	1	5
合 計		4	6	0	8	1	8	6	33

## 8 範囲内容確認調査・史跡整備に係る調査・学術調査

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	範囲内容確認調査	3	1	2	3		4	2	15
2	史跡整備に係る調査	1	1	2	1	1	1		7
3	学術調査								
合 計		4	2	4	4	1	5	2	22

## 9 令和3年度 試掘・確認調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	大熊町遺跡推定地2箇所	大熊町大字夫沢	県教委	4月5日～4月6日	94	—	—	中間貯蔵施設
2	貝餅遺跡ほか3箇所	南相馬市原町区上北高平	県教委	4月26日～6月11日	499	縄文	散布地	農地整備
3	船着横穴墓群ほか6箇所	南相馬市鹿島区江垂、 小島田	県教委	5月6日～12月16日	612	古墳ほか	古墳ほか	農地整備
4	反町遺跡	南相馬市鹿島区大字南屋形	県教委	12月9日～10日	18	弥生・古墳 ・平安	集落跡	農地整備
5	川内村遺跡推定地1箇所	川内村大字上川内	県教委	8月30日～9月2日	105	平安	散布地	農地整備
6	浪江町遺跡推定地5箇所	浪江町大字川添、樋渡	県教委	9月22日～2月25日	1,216	—	—	農地整備
7	浪江町遺跡推定地1箇所	浪江町大字加倉	県教委	1月17日～1月25日	315	縄文	散布地	農地整備
8	下木戸遺跡	田村市船引町北移	県教委	11月1日～11月4日	18	縄文	集落跡	農地整備
9	天神谷地遺跡ほか3箇所	南相馬市原町区上北高平、 北長野、北新田	県教委	5月24日～2月1日	299	縄文	散布地	道路
10	北原貝塚ほか5箇所	南相馬市小高区浦尻	県教委	7月19日～8月6日	163	縄文	貝塚	道路
11	浪江町遺跡推定地1箇所	浪江町大字西台	県教委	1月12日～1月14日	81	古墳、奈良、 平安	集落跡	道路
12	辻前遺跡	浪江町大字幾世橋	県教委	1月26日	6	古墳、奈良、 平安	散布地	道路
13	四ツ栗遺跡ほか1遺跡	南相馬市小高区大字川房	県教委	7月12日～8月4日	213	縄文・平安 ほか	散布地 ほか	道路
14	川内村遺跡推定地1箇所	川内村大字下川内	県教委	8月18日～8月23日	165	縄文・古墳 ～平安	集落跡、 生産遺跡	電気
15	添野町大町遺跡ほか1遺跡	いわき市添野町大町ほか	県教委	4月19日～4月23日	387	中世	集落跡	河川
16	中西部遺跡ほか1遺跡	金山町滝沢字中西部ほか	県教委	5月13日～6月2日	1,009	縄文、弥生	集落跡	道路
17	相馬市遺跡推定地ほか 3箇所	相馬市玉野、飯館村佐須、 川俣町小綱木	県教委	6月22日～7月1日	27	—	—	電気
18	井戸神沢遺跡	大熊町大字野上字湯の神	県教委	7月6日～7月7日	42	縄文	散布地	道路

## 10 令和3年度 発掘調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	栗林遺跡・中妻新田遺跡	下郷町大字中妻	県教委	4月13日～11月30日	3,152	縄文	集落跡	会津縦貫 南道路
2	前田遺跡	川俣町大字小綱木字前田	県教委	5月10日～10月13日	250	縄文・弥生 奈良・平安 中世・近世	低湿地・ 集落跡	国道114 号改良
3	日南郷遺跡・高津戸館跡	富岡町大字上手岡字後田	県教委	5月10日～8月3日	3,400	古墳・中世	集落跡・ 城館跡	道路
4	丈六横穴墓群・丈六古墳 群	浪江町大字高瀬字丈六	県教委	9月13日～12月10日	1,000	古墳	古墳	道路

### 第3節 文化財保存助成の充実

#### 1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財管理	延命寺	延命寺地蔵堂	建造物	防災保守点検等	265,000	64,500	64,500	136,000
国指定文化財管理	八葉寺	八葉寺阿弥陀堂	建造物	防災保守点検等	237,380	57,500	57,500	122,380
国指定文化財管理	横山操	旧滝沢本陣 横山家住宅	建造物	防災保守点検等	323,400	73,500	73,500	176,400
国指定文化財管理	飯盛正徳	旧正宗寺三匠堂	建造物	防災保守点検等	1,188,894	293,500	293,500	601,894
国指定文化財管理	勝福寺	勝福寺観音堂	建造物	防災保守点検等	434,500	107,500	107,500	219,500
国指定文化財管理	熊野神社	熊野神社長床	建造物	防災保守点検等	4,106,890	286,000	286,000	3,534,890
国指定文化財管理	円満寺	円満寺観音堂	建造物	防災保守点検等	1,343,700	225,000	225,000	893,700
国指定文化財管理	恵隆寺	恵隆寺観音堂	建造物	雪降し、除雪等	74,270	18,500	18,500	37,270
国指定文化財管理	法用寺	法用寺本堂内 厨子及び仏壇	建造物	防災保守点検	44,000	10,000	10,000	24,000
国指定文化財管理	常福院	常福院薬師堂	建造物	防災保守点検	55,000	11,500	11,500	32,000
国指定文化財管理	福生寺	福生寺観音堂	建造物	防災保守点検	66,000	12,500	12,500	41,000
国指定文化財管理	飯野八幡宮	飯野八幡宮	建造物	防災保守点検等	788,170	190,000	190,000	408,170
計	12件				8,927,204	1,350,000	1,350,000	6,227,204

#### 2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

##### (1) 国指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	安積歴史博物館	旧福島県尋常 中学校本館	建造物	建造物修理	6,725,000	5,622,000	270,000	833,000
記念物保存修理	横山操	旧滝沢本陣	史跡	指定地内整備	6,168,000	4,846,000	150,000	1,172,000
建造物保存修理	勝常寺	勝常寺薬師堂	建造物	建造物修理	10,061,400	7,928,000	630,000	1,503,400
美術工芸品保存修理	三島町	福島県荒屋敷 遺跡出土品	美術工芸品 (考古資料)	考古資料修復	8,308,886	5,289,000	630,000	2,389,886
建造物防災施設	専称寺	専称寺本堂 ほか2棟	建造物	防災施設整備	55,459,592	46,777,000	1,530,000	7,152,592
建造物防災施設	願成寺	白水阿弥陀堂	建造物	建造物防災施設	3,045,000	2,250,000	270,000	525,000
計	6件				89,767,878	72,712,000	3,480,000	13,575,878

## (2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	福島市	旧奈良輪家住宅	建造物	建造物修理	2,573,000	0	850,000	1,723,000
建造物保存修理	福島市	旧奈良輪家住宅	建造物	建造物修理	5,408,702	0	1,800,000	3,608,702
美術工芸品保存修理	如法寺	木造不動明王立像 ・木造毘沙門天立像	美術 工芸品	彫刻修復	2,530,326	0	840,000	1,690,326
天然記念物保護増殖	古殿町	古殿町越代の サクラ	天然 記念物	保護増殖	16,005,000	0	2,770,000	13,235,000
建造物防災施設	白河ハリスト ス正教会	白河ハリストス 正教会聖堂	建造物	建造物修理	899,371	0	290,000	609,371
天然記念物保護増殖	塙町	向ヶ岡公園の サクラ	天然 記念物	保護増殖	1,540,550	0	510,000	1,030,550
天然記念物保護増殖	矢祭町	戸津辺のサクラ	天然 記念物	保護増殖	12,278,620	0	4,090,000	8,188,620
美術工芸品保存修理	恵隆寺	木造二十八部衆 立像	美術 工芸品	彫刻修復	3,702,300	0	1,230,000	2,472,300
建造物保存修理	大聖寺	旧渡部家住宅	建造物	建造物修理	7,912,870	0	2,630,000	5,282,870
記念物保存修理	大聖寺	大聖寺の アカガシ樹群	天然 記念物	指定地内整備	1,168,184	0	380,000	788,184
建造物保存修理	高蔵寺	高蔵寺三重塔	建造物	建造物修理	24,057,000	0	8,000,000	16,057,000
計	11件				78,075,923	0	23,390,000	54,685,923

### 3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

台風19号等により被災した国指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧 (R3負担行為)	如宝寺	鈴木信教墓	史跡	災害復旧工事	790,852	0	260,000	530,852
災害復旧 (R2事故繰越)	白河市	白川城跡	史跡	災害復旧工事	36,938,414	25,780,000	5,524,000	5,634,414
災害復旧 (R3負担行為)	南湖神社	松風亭蘿月庵	建造物	災害復旧工事	957,000	0	250,000	707,000
災害復旧 (R2明許繰越)	相馬市	中村村跡	史跡	災害復旧工事	16,610,000	0	5,530,000	11,080,000
災害復旧 (R3負担行為)	相馬市	中村村跡	史跡	災害復旧工事	3,487,000	0	1,160,000	2,327,000
計	5件				58,783,266	25,780,000	12,724,000	20,279,266

## 第4節 文化財の保護と公開の推進

### 1 第63回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 令和3年 10月30日 リハーサル・実行委員会  
10月31日 開会式・民俗芸能公開

場 所 三沢市公会堂（青森県青森市）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。

### 2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11月1日から11月7日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

### 3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

## 第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

### 1 登録審査委員

佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美、塚本剛之

### 2 登録審査会の実施状況

期 日	会 場	審査数	失格数	登録数	登録数の内訳	
					刀 剣	銃 砲
5月20日	いわき合同庁舎	14	0	14	14	0
7月16日	郡山市労働福祉会館	21	3	18	15	3
9月10日	会津若松合同庁舎	37	2	35	35	0
12月1日	あづま荘	33	2	31	31	0
2月15日	郡山市労働福祉会館	50	1	49	48	1
計		155	8	147	143	4

※ 再交付に係る審査を除く。

### 3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	13	672
相 続	1	68
貸 付	1	0
保管の委託	1	7
計	16	747

## 第6節 福島県文化財センター白河館の運営状況

### 1 入館者数

令和3年度の入館者は10,831人であり、前年度の入館者(11,249人)に比べ418人減少した。団体利用は、前年度に比べ458名増加した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、586,836人となった。

(令和4年3月31日現在)

月	入館者数(人)	1日平均入館者数(人)
4月	704	28
5月	1,180	45
6月	1,172	45
7月	862	32
8月	1,082	42
9月	805	31
10月	951	35
11月	1,307	54
12月	708	31
1月	506	22
2月	693	30
3月	861	32
計	10,831	36

### 2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 87.0% (うち総入館者数に占める白河市の割合 44.1%)

県外者 13.0%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が26.6%、団体入館者が11.0%を占める。

### 3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (令和4年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数	1	2				1				1		2	7
	入館者数	12	13				17				9		31	82
小学校	団体数	1		11	2	1	3		2	1		3		24
	入館者数	18		323	41	13	76		103	46		124		744
中学校	団体数							1						1
	入館者数							39						39
高等学校	団体数		1					1						2
	入館者数		22					28						50
支援学校	団体数			1										1
	入館者数			23										23
大学	団体数		1											1
	入館者数		19											19
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数													0
	入館者数													0
研究会	団体数													0
	入館者数													0
子ども会	団体数													0
	入館者数													0
公民館等	団体数		1		1	2			3					7
	入館者数		9		22	24			67					122

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉施設・ デイケアサービス	団体数	1			1	1		1						4
	入館者数	7			8	13		18						46
資料館等	団体数													0
	入館者数													0
歴史研究団体	団体数							1						1
	入館者数							7						7
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数			2									1	3
	入館者数			19									8	27
その他	団体数								2					2
	入館者数								34					34
計	団体数	3	5	14	4	4	4	4	7	1	1	3	3	53
	入館者数	37	63	365	71	50	93	92	204	46	9	124	39	1,193
総入館者に占める 団体入館者の割合(%)		5.26	5.34	31.14	8.24	4.62	11.55	9.67	15.61	6.50	1.78	17.89	4.53	11.01

#### 4 情報発信事業の利用者

ホームページアクセス件数 35,272 件

(令和4年3月31日現在)

(文化財データベースのほか、福島県文化財センター白河館の行事予定等をホームページで紹介している。)

#### 5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品等 57,272 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。写真掲載・転載の申し込み 22 件、出土品借受の申し込み 11 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 16 件であった。

#### 6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、文化財保護指導者、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象	研修内容
基礎研修 (2回)	市町村職員 等	市町村が直面する課題や先行実践例の検証などを通して、文化財保護法改定後の文化財保護行政のあり方を議論する。
専門研修 (2回)	市町村職員、 市町村文化 財保護指導 者等	市町村文化財保護行政の実践例を現地で検証し、埋蔵文化財調査における脆弱遺物の取り扱い方法について学習を行う。
特別研修 (8回)	市町村職員 等	市町村の要望に応じて館内外において随時実施。

参加者：合計 238 名

#### 令和3年度研修実施状況

(令和4年3月31日現在)

##### ・基礎研修(2回)

「文化財保護行政実務者研修」 7月8日 参加者 7名  
「文化財活用研修」(オンライン開催) 8月16日 参加者 27名

##### ・専門研修(2回)

「文化財保護指導者研修会」10月21日～22日 参加者延べ95名  
「脆弱遺物の取り扱い」 1月20日 参加者 4名

##### ・特別研修(8回)

「古殿町文化財保護審議委員に係る研修」 6月2日 参加者 10名  
「浅川町体験学習指導員研修」 7月10日 参加者 1名  
「石川町立歴史民俗資料館移転整備に係る指導」 8月6日 参加者 4名  
「喜多方市藤権現遺跡出土品に関わる指導」 9月28日 参加者 6名  
「福島県小学校教育研究協議会社会科研究部会郡山地区大会」 10月5日 参加者 71名  
「伊達市被災資料保全のための指導」12月17日 参加者 3名  
「郡山市指定文化財保存に関する指導」12月21日 参加者 4名  
「大熊町社会教育複合施設整備等に係る指導」 2月16日 参加者 6名

## 7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室を設けている。また野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

### (1) いつでもできる体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体に体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「火おこしに挑戦」のほか、月替わりの期間限定メニューを用意している。

#### 常時体験型体験活動状況 (令和4年3月31日現在)

月	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	704	91	12.9
5月	1,180	238	20.2
6月	1,172	128	10.9
7月	862	181	21.0
8月	1,082	258	23.8
9月	805	110	13.7
10月	951	172	18.1
11月	1,307	165	12.6
12月	708	131	18.5
1月	506	165	32.6
2月	693	147	21.2
3月	861	140	16.3
計	10,831	1,926	17.8

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

### (2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、ガラスづくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間で実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

#### ・まほろん森の塾

- 第1回 「入塾式ほか」 6月20日 参加者8名
- 第2回 「縄文土器づくり」 8月1日 参加者8名
- 第3回 「土器野焼き・植物観察ほか」 9月19日 参加者8名
- 第4回 「20周年記念式典・記念企画展開幕式」  
10月16日 参加者7名
- 第5回 「修了式・火おこし・土器使用体験ほか」  
11月21日 参加者8名

#### ・実技講座

- 「大堀相馬焼に挑戦①印花づくり」 8月8日 参加者12名
- 「大堀相馬焼に挑戦②皿づくり成形」 8月29日 参加者12名
- 「土偶づくり」 10月3日 参加者8名
- 「土器づくり初級編」 10月31日 参加者8名

- 「土器づくり上級編①土器づくり」 12月11日 参加者8名
- 「土器づくり上級編②成形・施文」 12月12日 参加者8名
- 「土器づくり上級編③ミガキ調整」

12月14日～16日 参加者延べ12名

- 「実験講座ガラスづくり①坩堝づくり」 2月13日 参加者3名
- 「実験講座ガラスづくり②操業実験」 2月20日 参加者3名
- 「縄文土器づくり上級編④野焼き」 荒天のため中止

#### ・実技講座 (web 配信)

「おうちでできる土器づくり」

4月24日～7月25日 参加者延べ12名

### (3) 館外体験学習

#### ア おでかけまほろん

福島県文化財センター白河館から、小中学校等教育機関等へ職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。令和3年度は15カ所で実施し、参加者数は合計287名であった。

- 第1回 福島県立たむら支援学校 5月13日 参加者10名  
高等部 (石崎校舎)
- 第2回 二本松市立川崎小学校 5月27日 参加者21名
- 第3回 飯館村立いいたて希望の 6月16日 参加者5名  
里学園 前期課程
- 第4回 喜多方市立駒形小学校 6月23日 参加者13名
- 第5回 南相馬市立石神小学校 7月8日 参加者44名
- 第6回 南会津町立松沢小学校 7月14日 参加者9名
- 第7回 福島県立会津支援学校 9月1日 参加者3名  
竹田校 (オンライン開催)
- 第8回 桑折中央公民館こおり 9月26日 参加者15名  
キッズスクール
- 第9回 大玉村公民館 10月23日 参加者25名
- 第10回 いわき市立長倉小学校 10月28日 参加者22名
- 第11回 会津美里町宮川生涯学習 11月6日 参加者11名  
センター
- 第12回 塙町公民館はなわ探検隊 11月14日 参加者38名
- 第13回 福島県立あぶくま支援 12月1日 参加者24名  
学校中等部
- 第14回 福島大学附属特別支援学校 12月8日 参加者30名
- 第15回 福島県立西郷支援学校 1月20日 参加者17名  
高等部

#### イ 生涯学習行事への出展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントへの出展・体験学習プログラムの実施を中止した。

## 8 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会や講座を開催した。

### (1) 館長講演会

4回開催

- 第1回「人類史と酒」 7月31日 聴講者 22名
- 第2回「日本人てどんな人たちー外国人から見た過去の日本ー」  
9月18日 聴講者 17名
- 第3回「『縄文』が世界遺産になった！」  
12月18日 聴講者 23名
- 第4回「考古ニュースを解説する」 2月26日 聴講者 18名

### (2) 文化財講演会等

6回開催

- 縄文時代講座1「法正尻遺跡の特質」  
5月15日 参加者 19名
- 縄文時代講座2「福島県出土の硬玉製大珠」・「法正尻遺跡の外來系土器」  
6月6日 参加者 19名
- 文化財科学講座1 シンポジウム「鉄の道をたどる」  
8月21日・22日 参加者延べ35名
- 文化財科学講座2「文化財科学最前線」  
9月5日 中止
- 縄文時代講座3「複式炉を考える」  
10月23日 参加者 23名
- 縄文時代セミナー「縄文集落と葬制の画期」  
11月13日・14日 参加者延べ45名
- まほろん20周年記念講演会  
「まほろんの20年とこれから」「文化財を読み解き未来へ伝える科学のチカラ」「白河の歴史的風土」「史実の迫り方ー縄文前期から慶長五年までー」  
3月5日 参加者 83名

## 9 常設展事業

常設展示室では、以下のコーナーを設けて、収蔵遺物や復元品を理解しやすい形で展示している。

「暮らしのうつりかわり」「暮らしをささえた道具」「A：旧みんなの研究ひろば」「B：旧話題の遺跡」「C：旧しらかわ歴史名場面」各コーナーにおいては展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり（昭和～縄文時代の出土品等）
- A：旧みんなの研究ひろば（磐梯町角間遺跡・天光遺跡出土品等）
- B：旧話題の遺跡（まほろん収蔵の土偶や双葉町教育委員会所蔵の双葉高校史学部の研究成果等）
- C：旧しらかわ歴史名場面（南相馬市赤柴遺跡出土品等）
- 重要文化財公開（国指定法正尻遺跡出土品）
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え  
・「まほろんの逸品」（天栄村桑名邸遺跡等）

## 10 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

### (1) 収蔵資料展

「法正尻遺跡展2ー縄文人の移動と交流ー」  
4月24日～6月20日 観覧者 2,216名

### (2) 特別展

「文化財をよみとく科学のチカラ」  
7月22日～9月20日 観覧者 2,053名

### (3) 指定文化財展

「法正尻遺跡展3『複式炉の時代ー縄文集落の画期ー』」  
10月16日～12月19日 観覧者 2,512名

### (4) ふくしま歴史探訪展

「戦後ふくしまの考古学ー福島県学生考古学会の発足から福島県史の刊行までー」  
1月22日～5月8日 観覧者 1,749名

### (5) 移動展

教育普及機関・研究機関等と連携して、移動展を実施した。

- 「ようこそ！古墳時代へ」  
4月13日～6月2日（場所：須賀川市立博物館）  
観覧者 1,164名
- 6月4日～6月30日（場所：福島県立図書館）  
観覧者11,602名
- りぶらん祭「白河市天王山遺跡が国指定史跡へ！」  
7月24日・25日（場所：白河市立図書館）  
観覧者 1,373名

## 11 ボランティア運営事業

### (1) 「まほろんボランティア」の活動状況

縄文時代の家、奈良時代の家の燻蒸  
体験学習用器材の整備など  
ボランティア連絡会（3回開催）

### (2) 登録数

個人ボランティア 32名

## 12 市町村への技術支援の状況

文化財保護に対する個別の技術支援が必要な市町村に対して、専門職員の派遣を実施する。令和3年度は、2市に対し計3回、職員を派遣した。

- ・出土遺物保存方法指導 二本松市（1回）
- ・出土品の分析 郡山市（1回）
- ・土層断面剥ぎ取り資料保管方法指導 郡山市（1回）

## 13 その他

### (1) イベントの開催

- ・「開館20周年記念式典・記念企画展開幕式」を10月16日に開催した。
- ・「移動水族館アクアラバン」11月6日・7日 参加者 440名

